

「出会いの街・ながおか」大手通活性化プロジェクト

鯉江康正ゼミナール

07E004 石綿真也	07E007 大井拓朗
07E018 黒田未奈子	07E019 小島和幸
07E027 重野友里	07E038 寺本 誉
07E049 山田祐介	07E052 李 佩
08E006 今坂麻美	08E010 大平卓弥
08E017 小嶋さやか	08E018 粉川大樹
08E019 小林 薫	08E030 関根絢也
08E035 竹内祐輝	08E040 中嶋真悠美
08E042 中山佳之	08E049 南雲 涼
08E003 石月美沙世 (菊池いづみゼミナール)	

目 次

1. 取組の目的と経緯	II-332
1. 1 きっかけ	II-332
1. 2 取組の目的と活動の検討	II-332
2. 大手通の概要と歴史	II-335
2. 1 概要	II-335
2. 2 歴史	II-335
2. 2. 1 大手通の由来	II-335
2. 2. 2 大手通の歴史年表	II-335
3. 大手通の方々の思い	II-337
3. 1 「ハイライフステージ出会うの街」コンセプト	II-337
3. 2 モニュメントに込める思い	II-337
4. 大手通の魅力発見	II-341
4. 1 学生から見た大手通の印象	II-341
4. 2 ホームページ紹介	II-343
4. 3 マップ紹介	II-345
5. 今年度の活動概要	II-349
5. 1 「市民活動まつり」参加報告	II-349
5. 1. 1 「市民活動まつり」参加のきっかけ	II-349
5. 1. 2 大手通ちびっ子探検ラリーの実施	II-349
5. 1. 3 大手通ちびっ子探検ラリーの評価と今後の課題	II-353
5. 2 カレンダー作成	II-357
5. 2. 1 企画経緯	II-357
5. 2. 2 企画内容	II-357
5. 2. 3 カレンダー作成における課題・反省	II-357
5. 2. 4 カレンダー完成品	II-358
5. 3 ストーリー作成	II-362
5. 3. 1 企画経緯	II-362
5. 3. 2 企画内容	II-362
5. 3. 3 ストーリー作成における課題・反省	II-362
5. 3. 4 ストーリー完成品	II-363
6. とりまとめ	II-375
謝辞	II-375

1. 取組の目的と経緯

1.1 きっかけ

中越高等学校放送部より、以下のお誘いがあり開始された企画である。中越高等学校放送部が、シャッターが多く目につくようになったことに問題意識を抱き、大手通りの調査活動を行った。その時、大手通りに6体のブロンズ像が設置されていることに気付いた。

放送部生徒は、ブロンズ像の設置経緯を取材するために、商店街のいくつかのお店を回り、越時計店店主野本九萬雄氏と出会った。そこでブロンズ像は大手通活性化のために平成9年に設置されたもので、デザインは野本氏が行い、長岡駅の良寛像やハイブ長岡の米百俵の群像も手掛けた元井達夫氏によって作成された事実を知る。更に調査を進めるためにお借りした資料の中には、ブロンズ像の原画もあり、その素晴らしさに放送部の方々は感銘を受けたそうである。この原画がこのまま人目に触れずにいることはとても損なことであると感じ、原画を使い、「出会いの街」に貢献して欲しいという気持ちを持たれた高澤先生から、大学に声かけをしていただいた。

1.2 取組の目的と活動の検討

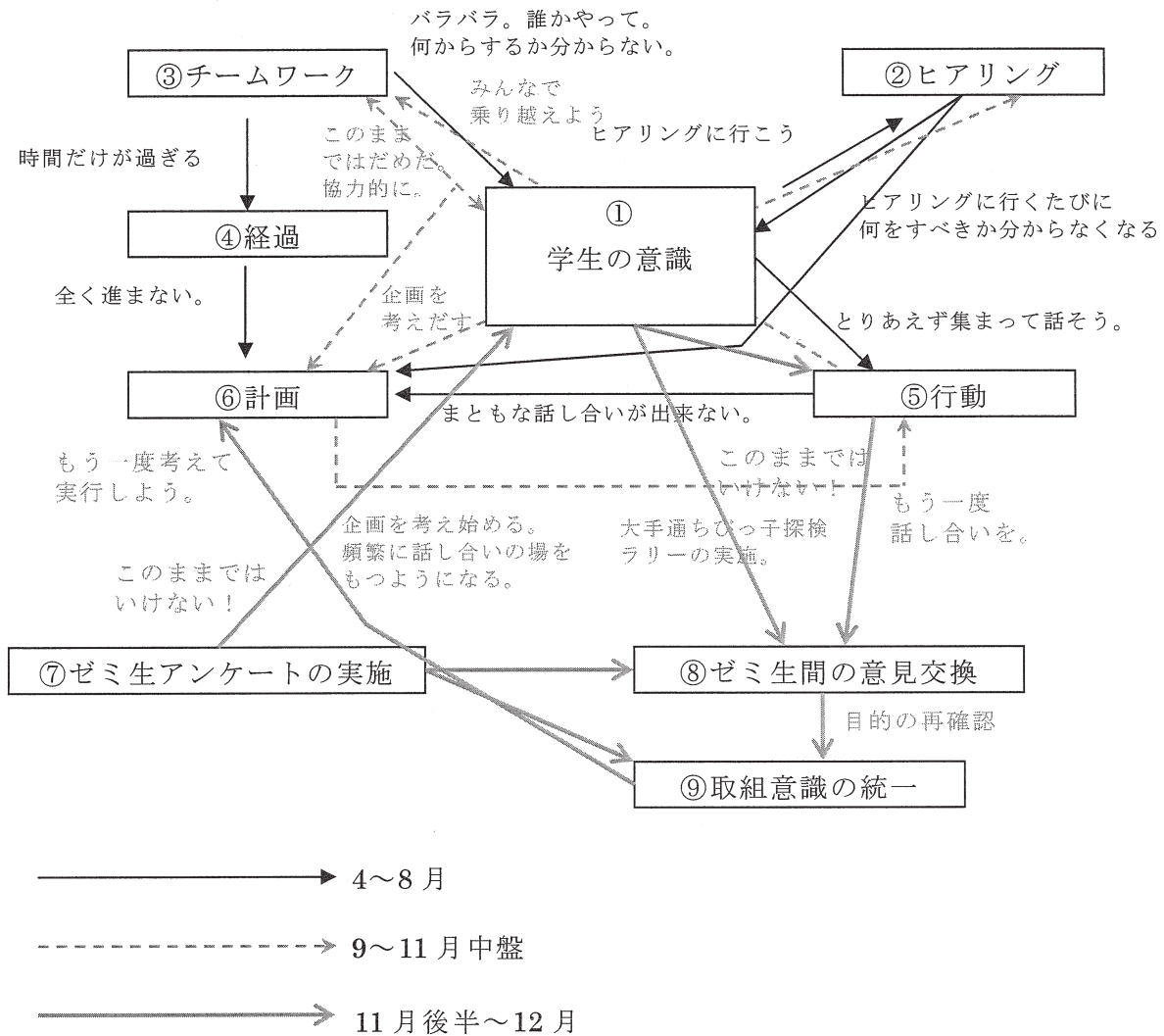
(1) 迷走するメンバー

学生の取組意識を統一するのに、4月～11月という長い時間を費やしてしまった。その間の学生の意識の変化をまとめると、以下の通りである。

2～3月	・話は聞かされたが、新年度からとの事だったので何も考えていない。
4月	・企画の趣旨が掴めない。どうしても大手通の活性化という方に目が向いてしまう。 ・カレンダー作りをすすめられるが、その必要性が自分達には分からない。 ・とにかく原画を使って大手通を活性化しようという結論に行き着く。
5月	・グループが編成され、グループ内での話し合いをする。「まちの駅プロジェクト」(鯉江ゼミナールのもう1つの取組)との掛け持ちの学生もおり、なかなか話し合いが進まない。 ・5月20日の中越高校へのヒアリングではカレンダー以外の案も提示され、さらに活性化という方に意識が進む。
6月	・まちの駅を全ての班が担当することになり、そちらのほうに意識が取られるようになる。 ・ゼミ以外の時間での話し合いを実施し始める。原画を使った塗り絵コンクールを実施し、そのコンクール優秀作品をつかったカレンダー制作、絵本などの企画を考える。
7月	・まちの駅のヒアリングに勢力を注いでしまい、メンバーで集まる時間すら取れない状況。 ・とにかくまちの駅の方は夏休み前までにヒアリングを終わらせなくてはならないということが頭にあった。

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに突入し、3年はインターンシップ、4年は就職活動でなおのこと時間はとれない。 ・このままではいけないと感じ、夏休み中ではあるが、打ち合わせする機会を作ったが、まだまだ自分のことで精一杯で、企画のことを考えられていない。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・さすがにこのままではまずいと一部学生は思うようになる。リーダーを交代し、全員に企画を考えてもらう。 ・頻繁に集まりを設けるようになり、徐々に企画を実行しなくてはならないということを考えられるようになれる。しかし、他方で企画を離れる人間が出るなど思いはバラバラである。 ・大手通ヒアリング時に企画の指摘を受け、ますます目的がわからなくなる。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に集まり、企画の話し合いをする中で、何かしなくてはならないという気持ちが広がり始める。ただ大手通側からの提案である、既存のイベントと絡めるとなると、残りは11月6日の「市民活動まつり」しかチャンスはないと気付く。 ・とにかく何かを実行しなくてはという思いと、カレンダー企画はもう無理だという諦めが漂う。 ・企画をどうすべきか悩む中で、9月のヒアリングの中で好評だったスタンプラリー企画を何とか実行に移そうと考える。 ・企画が決まってからは、とにかく成功させるために必死に作業を進める。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動まつりが何とか大きなトラブルも無く終了し、ほっとする。 ・中間発表会や社会人基礎力育成グランプリの報告資料作成作業を進めるメンバー（このメンバーがゼミを中心的にひっぱってきた学生）が資料作成に追われ、話し合いはまたストップ状態になった。さらに中間発表会での発表のみのメンバーもその準備に追われ、打ち合わせから離れてしまう。それ以外のメンバーは何もすることなく過ごしていた。 ・中間発表会での厳しい指摘から、このままでいいのかということを考えるようになり、ゼミ生アンケートを実施し、ゼミ生間の意見交換を通じてやっと取組意識・目的の統一を図る事ができた。

図1 これまでの流れ図



(2) 取組の目的

上述のような迷走を経て、やっと確認された取組の目的は以下の通りである。

「ブロンズ像の原画を使い、大手通の魅力を学生が発信することで、大手通に興味を抱いてもらい、出会いの街・ながおかに貢献すること」

そこに魅力があれば、人は訪れてくれるはずである。その人が興味を惹かれるきっかけ作りを学生が行うということを目的とした。

(3) 決定された取組活動

「(2) 取組の目的」から決定された取組内容である。

- ・大手通の魅力を発信するために大手通の魅力発見を行い、整理する。
- ・ブロンズ像、及び原画を媒体とした大手通魅力発信の企画の実行。また、11月6日にすでに実施された企画であるが、市民活動まつりでの「大手通ちびっ子探検ラリー」はこのテーマにあてはまっていたという解釈を行った。

2. 大手通の概要と歴史

2.1 概要

大手通は旧長岡城址の中心部にあたり、明治維新後、道路整備や商業施設が進出し、長岡の中心地となった。

大手通には、市役所・公会堂・商工会議所・警察署・長岡貯蓄銀行等の公共施設が建ち並び文字通り長岡のメインストリートとなり、今の大手通の原型ができた。

しかし、現代社会ではモータリゼーションが進展し、交通網があまり発達していない地方都市を中心に郊外化が進み、自動車での買い物に行く人が増えた。長岡市も例外ではなく公共交通機関離れが進み、郊外に大型ショッピングセンターが次々と出来、長岡駅前付近に発展してきた大手通商店街は徐々に客足が遠のいてきた。

昔のような活気を取り戻そうと、大手通商店街ではアーケードの架け替えや地下駐車場の整備などを行ってきた。平成 24 年 1 月には旧厚生会館跡地に市役所が一体となった複合施設、シティーホール「アオーレ長岡」が完成予定である。

2.2 歴史

大手通の歴史は、大手通商店街ホームページで見られる。

大手通商店街ホームページ <http://otedori.jp/> トップ→大手通の歴史

2.2.1 大手通の由来

昔は鉄道駅を停車場と呼ばれていた。長岡駅前付近に発展した大手通商店街、停車場通りと呼ばれていた。

当時、停車場通りは7つの街で形成されており、通称・大通りと呼んでいた。しかし、その昔長岡城の本丸（現長岡駅）に通じる城門を大手門と呼んでいた事から、市民の間で大通りを大手通と呼ぶようになったのが始まりと言われている。

現在でも、大手通の名称は主要地方道「県道 36 号線長岡停車場線」となっている。

2.2.2 大手通の歴史年表

明治 31 年	北越鉄道全通。長岡駅完成。
明治 39 年	長岡花火大会が始まる。※1
大正 4 年	栃尾鉄道開通（栃尾一下長岡間）
大正 11 年	大手通で五・十市が開かれる。※2
大正 13 年	停車場通りを歩道と車道に分け大幅な道路改修工事を行う。
大正 14 年	宝田石油跡地(厚生会館の隣)が宝田公園になる。
大正 15 年	長岡市公会堂完成。
昭和 2 年	大手通で月 6 回市場開設。
昭和 4 年	長岡城址の碑建立。
昭和 20 年	全市大空襲を受ける。

昭和 21 年	戦災復興際が行われる。翌年、長岡花火大会復活。 市役所庁舎竣工。※3
昭和 26 年	現在の長岡まつりという名称に変更。
昭和 24 年	五・十の市、坂之上町・殿町に復活。 協和銀行長岡支店開店（現りそな銀行）
昭和 26 年	平和像を長岡駅前に建立。※4
昭和 29 年	イチムラ百貨店が大手通新店舗を開店。
昭和 30 年	長岡駅前地下道開通。
昭和 33 年	大手通に厚生会館完成。 大和百貨店長岡店開店。 【まいまいひめ】が完成。
昭和 34 年	大手通、新天街、スズラン通アーケード完成。※5 厚生会館隣に大野記念館完成。
昭和 35 年	地下一階、地上三階の丸専デパート開店。
昭和 37 年	丸大長岡店新築・竣工。
昭和 38 年	豪雪被害。
昭和 39 年	集中豪雨で水害被害。
昭和 40 年	第四銀行長岡支店、北越銀行本店 新築開店。
昭和 50 年	米百俵之碑除幕式。
昭和 55 年	新長岡駅オープン。
昭和 60 年	中心街と川西地区を結ぶ大手大橋開通。※6 長岡駅大手口前広場完成。
平成 9 年	大手通地下駐車場オープン。※7 大手通にカリヨンベル、ブロンズ像設置。
平成 13 年	ながおか市民センターオープン。
平成 14 年	第 1 回米百俵まつり開催。
平成 16 年	新潟県中越大震災発生。
平成 17 年	長岡まつりで震災復興祈願花火「フェニックス」打ち上げ。

※1 花火大会の起源は江戸時代の天保 11 年に打ち上げられた祝砲。

※2 大正 11 年に長岡市農会が中心となって、坂ノ上二丁目を中心に毎月 5 と 10 の日に闇市が開かれました。戦時中は、一時中止となりましたが、昭和 24 年に坂之上町、殿町に復活。現在もなお、その流れを農家の方々引継ぎ、自分たちの畑でとれた野菜などを中心に販売しています。

※3 現在のカーネーションプラザの場所。

※4 昭和 49 年に移転。

※5 冬場の買い物客の足を確保するため骨作り幅 6 メートル余のアーケードを建設。

※6 建設費 70 億円、長さ 878.3m、幅は 2 車線の 23m。

※7 アーケードを立て替えや地下駐車場などが整備され、より明るく開放的に。

(出所) 大手通商店街 HP 大手通の歴史

3. 大手通の方々の想い

3.1 「ハイレイフステージ出会いの街」コンセプト

1990年代、大手通商店街アーケードは老朽化が著しく、柱・屋根等の腐食が進み、ところどころで降雨時の雨漏りが見られ、美観ばかりでなく安全性の面からも、もはや限界にきている状況だった。豪雪地域の商店街にとって、安全な歩行空間を確保することは必須条件である。

平成5年3月に策定された「長岡市大手通商店街活性化実施計画策定事業」で大手通2丁目商店街の基本コンセプトとして掲げたのが「ハイレイフステージ出会いの街」である。

シンボルロードとしての整備計画に沿った近代的なアーケードのもとで、明るく楽しい雰囲気での買い物ムードを醸成する街づくりにしたいと考えている。

その一つとして、街角に彫刻作品（ブロンズ像）を配することでハイレイフなステージを演出して同時に長岡のシンボルロード計画との一貫性も加味した企画となっている。

ブロンズ像は、「ハイレイフステージ出会いの街」を新しい街づくりの基本コンセプトに掲げる大手通2丁目商店街の、未来に向かって成長するイメージを、かわいらしい子供たちの造形で表現している。

（出所）大手通商店街環境設備計画事業 報告書

3.2 モニュメントに込める想い

野本氏へのヒアリングの際にブロンズ像に対する想いを伺った。

(1) ブロンズ像を作成しようとした理由

長岡市の計画の中で3点セットと呼ばれる地下駐車場、アーケード、シンボルロードの建設という3つの計画が平成5年に練られた。その際のアーケード建設にあたり雰囲気作りとしてブロンズ像を作成しようとしたことがきっかけ。

(2) ブロンズ像を子供達の姿にした理由

一つ目の理由としては、長岡駅の東側シンボルロードとの一貫性を持たせるためである。シンボルロードとは、大手通ブロンズ像を制作した元井さんと新潟県の彫刻家が集まって作った子供たちのブロンズ像が設置された、長岡駅東口から市立図書館まで続く歩道のことである。

二つ目の理由としては、ブロンズ像の原画の子供達が成長していく姿を大手通に重ね、大手通もブロンズ像の子供達のように大いに成長し発展していけるように想いを込めて子供達の姿にしたとのことで、ブロンズ像に登場する子供達のキャラクターに関しては、特にストーリーなどは考えてはいないとの事。

(3) 6枚の原画のテーマ

そこにはそれぞれのブロンズ像に対する野本氏の考えが込められていました。

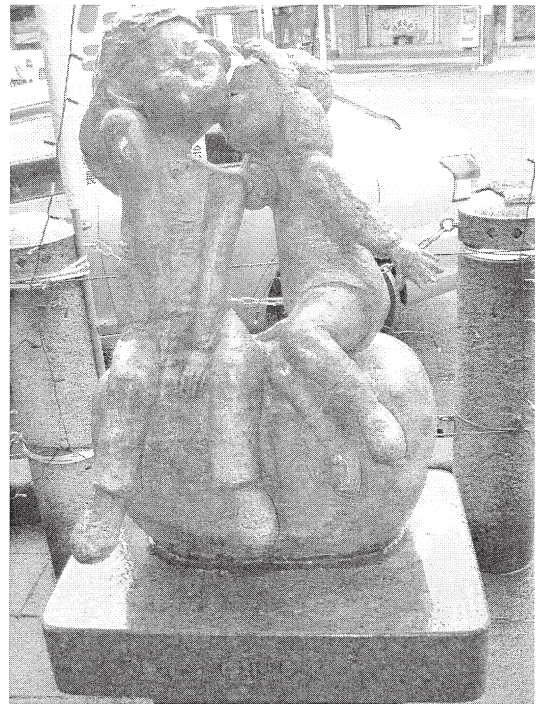
『お買い物』については、年末年始の買い物をしている所を想像し、買い物途中の女の子の様子をイメージしたとのことでした。季節の時期としては、1月、2月を考えていたそうです。

『お買い物』



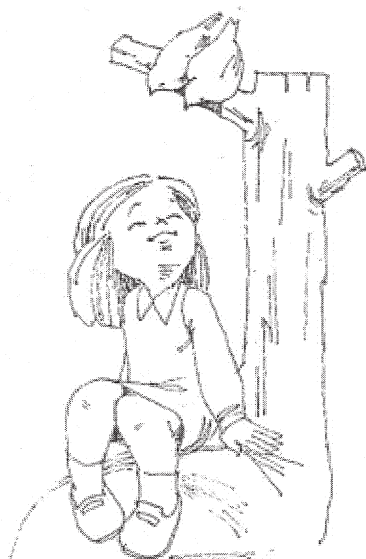
『なかよし』は、後述する『ないしょ』の発展版ということで内容は『ないしょ』に類似しているそうです。仲良しになって恋をしている二人の様子、または、多くの友達が仲良く集まって賑やかになっている様子を思い描き、大手通もそんな賑わった場所になってほしいという気持ちを込めデザインしたとのこと。季節の時期としては、3月、4月を考えていたそうです。

『なかよし』



『さえずり』については、大手通の植栽に自然の鳥が来て座っている女の子の近くでさえずり、話しかけてくる様子を表したそうです。殺風景な通りをにぎやかにさせる鳥との会話を想像したとのこと。季節の時期としては、5月、6月を考えていたそうです。

『さえずり』



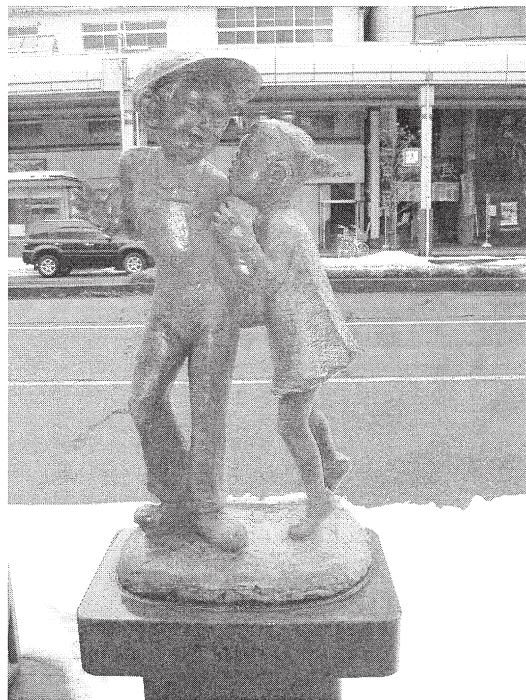
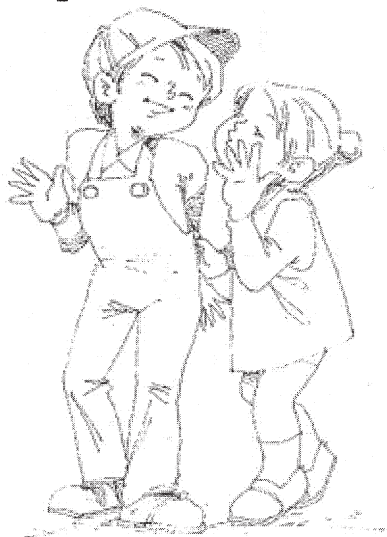
『あっ！花火』においては、毎年開かれる長岡花火を仲の良い子供2人が見ている、花火が上がった所を見上げている瞬間を表しているとのこと。ブロンズ像も花火が上げられている方向を向いて立てられています。今はそこにはマンションが立ったので、見えなくなったのが非常に残念だとおっしゃっておいりました。季節の時期としては、7月、8月を考えていたそうです。

『あっ！花火』



『ないしょ』については、女の子と男の子が内緒話をしている様子をイメージしたとのこと。また、少し見方を変えて男の子が女の子に、女の子が男の子に、愛の告白をしている所、またはただのつまらない内緒話かもしれないとも、想像することもできるとおっしゃってありました。季節の時期としては、9月、10月と考えていたそうです。

『ないしょ』



『風』については、川風が大手通に吹いてきて、その風に今にも帽子が吹き飛ばされそうな女の子の様子を想像したそうです。また女の子の横には犬がいて、女の子が犬の散歩中に風と出会った所をイメージして犬を加えたとのこと。

またこの風は大手通に吹き込む西からの風と供に、大手通に大いに新風が吹き込んでほしいと願いデザインしたとのです。季節の時期としては、11月、12月を考えていたそうです。

『風』



このように 6 つの原画、ブロンズ像にはそれぞれのテーマに基づいた野本氏の想いが、また大手通の発展への願いが沢山込められています。それらを野本氏へのヒアリングを通して教えていただくことができました。

4. 大手通の魅力発見

4.1 学生から見た大手通の印象

ここでは学生が大手通に足を運んで感じた印象をまとめる。

	プラスイメージ	マイナスイメージ
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・長い歴史がある商店街。 ・昔ながらのお店がたくさんある。 ・古くて昔からやっているお店が多い。 ・親しみやすい商店街。 ・昔から住まわれている方から愛されている商店街。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少し古い感じの商店街。
店舗	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な商店がある。 ・個性、味のある商店街がたくさんある。 ・店舗同士が連携をとっている。 ・アオーレ長岡ができれば、人が集まる人が集まっていく商店街になっていくと思う。 ・間野精肉店さんは、「下町のお肉屋さん！」という感じで、心が和んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の減少。 ・若者が少ない。 ・シャッター商店街。 ・店の多くがシャッター店舗。 ・目的のお店だけに行くという感じ。 ・個人商店が多く、若者が行くようなお店が少ない。 ・個人商店は入ると何か買わなくてはいけない気がしてしまい入りにくい。 ・夜早めに店が閉まる。 ・平日でも閉まっている店がある。 ・ずっと閉まっている店があり、その場所が勿体無い。 ・おしゃれな店がない。(若者が来そうな感じの)
客層	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている人には愛されている場所。 ・お店をアピールすれば、若者の利用も増えると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が集う場所とは言い難い。 ・あまり人が集まる場所というイメージがない。 ・商店街で見かける人は、年配の方や塾に通っている生徒が多い。 ・学生には敷居が高いように感じた。

	プラスイメージ	マイナスイメージ
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きとしたお店が多く、それがわかりづらく勿体無いと感じた。 ・大手通商店街では様々な企画を行い、現状を打破しようと努力している。 ・便利さと憩いの場として今後できる「アオーレ」に期待。 ・大手通商店街のホームページを見て、大きくイメージが変わった。 ・イルミネーションが綺麗。 ・カーネーションプラザが有効に使われている。 ・大きなイベントを行うスペースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街として機能しているかどうか、怪しいと思っていた。 ・若者が川西（千秋など）方向に流れ、老人の割合が多い。 ・知名度が低い。 ・県内第二の都市の商店街としては寂しい。 ・駅まではよく出かけていたが、大手通商店街はあまり利用していなかった。 ・家の近くに大型スーパー、ショッピングモールなどがあるため、大手通まで行って買い物しようとは思わない。 ・居酒屋しかないイメージ。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外の店にくらべ駐車場が不便。 ・駅が近いと駐車場が少ないため車を使う人が訪れにくい。 ・駐車場がほぼ有料なので車で来ている人は不便そう。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってみると、どこにどんな店（施設）があるのかが分かりにくく、案内板があれば分かりやすくなるのではないか。

4.2 ホームページ紹介

大手通商店街ではホームページを運用されている。詳しくは以下のアドレスを参照されたい。

大手通商店街ホームページ アドレス <http://otedori.jp/>

大手通商店街ホームページ トップ

大手通商店街 ホームページ

ようこそ！長岡ふれあいのショッピングエリアへ！

おお て どおり

▶TOP ▶リンク ▶サイトマップ ▶お問い合わせ

店舗紹介 駐車場のご案内 大手通の歴史 イベントカレンダー ブログ 大手通について

食品店
飲食店
ファッション・バッグ
宝石・時計・カメラ
生活用品・電化製品・楽器
医療・美容
金融・不動産
塾・書籍
ホテル・旅行・その他

大手通の歴史
新着情報

- ▶大手通商店街プロデュース第一弾！銘画「五十六」発売御礼！！(2010/12/29)
- ▶クリスマス・トークショーを開催致しました。(2010/12/27)
- ▶☆カーネーションプラザ 1月イベント情報☆(2010/12/26)
- ▶大手通クリスマス大パーティー大盛況！！(2010/12/26)

(1) 店舗紹介

この部分に関しては、同報告内「4.3 マップ紹介」のところで詳しく紹介する。

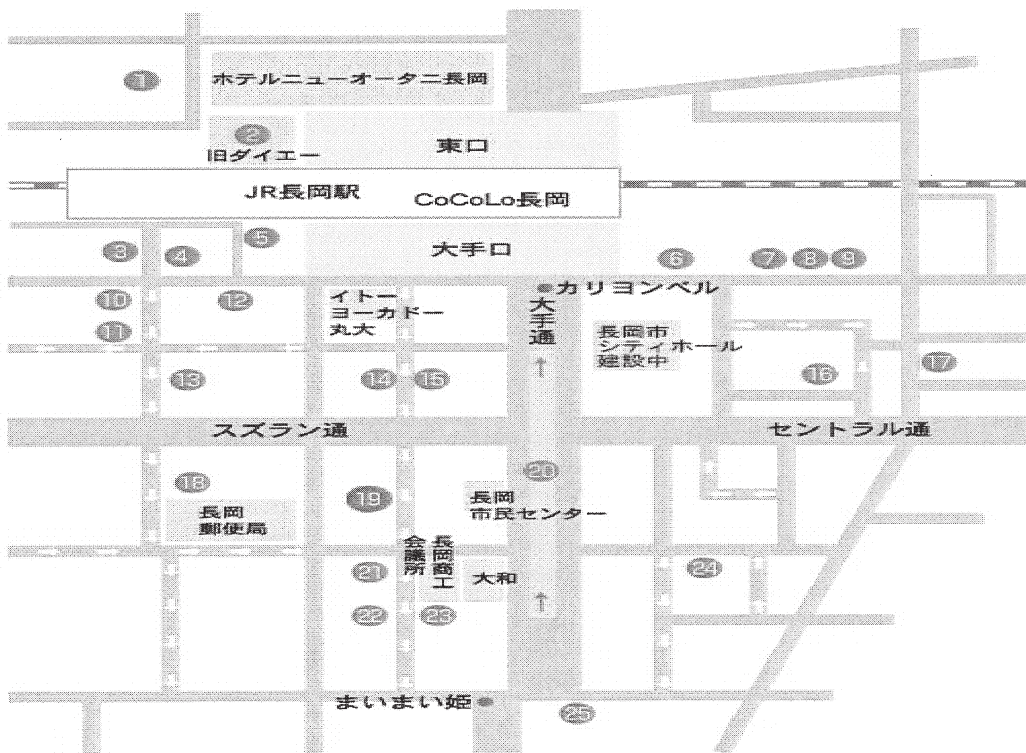
(2) 駐車場のご案内

ここでは大手通の駐車場を紹介している。詳しい場所は駐車場の番号と図2 駐車場地図の番号を照らし合わせご覧いただきたい。

また、大手通商店街（長岡市共通駐車券発行加盟店）で買い物をすると、長岡市共通駐車券が発行される。各店舗ごとに、利用金額に応じて発行されるので、時間を気にすることなく買い物を楽しむことができる。

	駐車場名		駐車場名
1	ホテルニューオータニ長岡専用駐車場	2	越後交通不動産駐車場
3	市営大手口駐車場	4	プラザパーキング
5	長岡ターミナルホテルパーキング	6	長岡駅前パーキング
7	駅前立体駐車場	8	イワフチ立体駐車場
9	ニコニコ立体駐車場	10	フレンドパーク長岡駅前アネックス
11	イトーヨーカドー駐車場	12	ペリカンパーク駅前駐車場
13	駅前中央パーキング	14	城内パーキング
15	城内町パーキング	16	長岡グランドホテル
17	殿町駐車場	18	越路パーキング
19	北越銀行本店駐車場（土日祝日臨時駐車場）	20	大手通地下駐車場
21	坂之上パーキング	22	高阪パーキング
23	長岡パーキング	24	紺喜駐車場
25	市営表町駐車場		

図2 駐車場地図



(出所) 大手通商店街 HP 駐車場 MAP

(3) 大手通の歴史

この部分に関しては、同報告内「2. 大手通の概要・歴史」を参照されたい。

(4) イベントカレンダー

大手通では年 6 回の歩行者天国や山本五十六市など様々なイベントを行っている。ここでは大手通で行われているイベントが紹介されている。

<平成 22 年度に実施された主なイベント>

①山本五十六市（やまもといそろくまつり）5 月 16 日（日）

- ・大手通で歩行者天国を実施。

②浪漫ギャラリー

- ・明治以降の町並みや暮らしに関する懐かしい写真を、店頭または店内に展示。

③自由広場「ながおか・ホコ天」への参加

- ・年 6 回の歩行者天国を実施。

第 1 回	5 月 5 日（祝）	こどもの日。花まつり（仏教会共催）
第 2 回	6 月 6 日（日）	第 9 回昭和の車展示会
第 3 回	7 月 10 日（土）	ダンスコレクション 2010
第 4 回	9 月 11 日（土）	救急フェア&第 4 回大道芸フェスタ
第 5 回	10 月 2 日（土）	米百俵まつり&大フリーマーケット
第 6 回	11 月 6 日（土）	市民活動まつり

(5) ブログ

大手通商店街のイベント情報やイベント実施報告、カーネーションプラザ情報、商店街の各店舗の情報などを見ることができる。

(6) 大手通について

大手通商店街の活動方針、イベント事業内容、大手通事務局の問い合わせ先などが紹介されている。

4.3 マップ紹介

大手通商店街のホームページでは、ショッピングや食事・ホテルに至るまで大手通商店街の最新情報満載で、出会いとふれあいの「大手通商店街」の約 60 店舗の情報を掲載している。店舗の場所は図 3 大手通商店街地図を参照されたい。

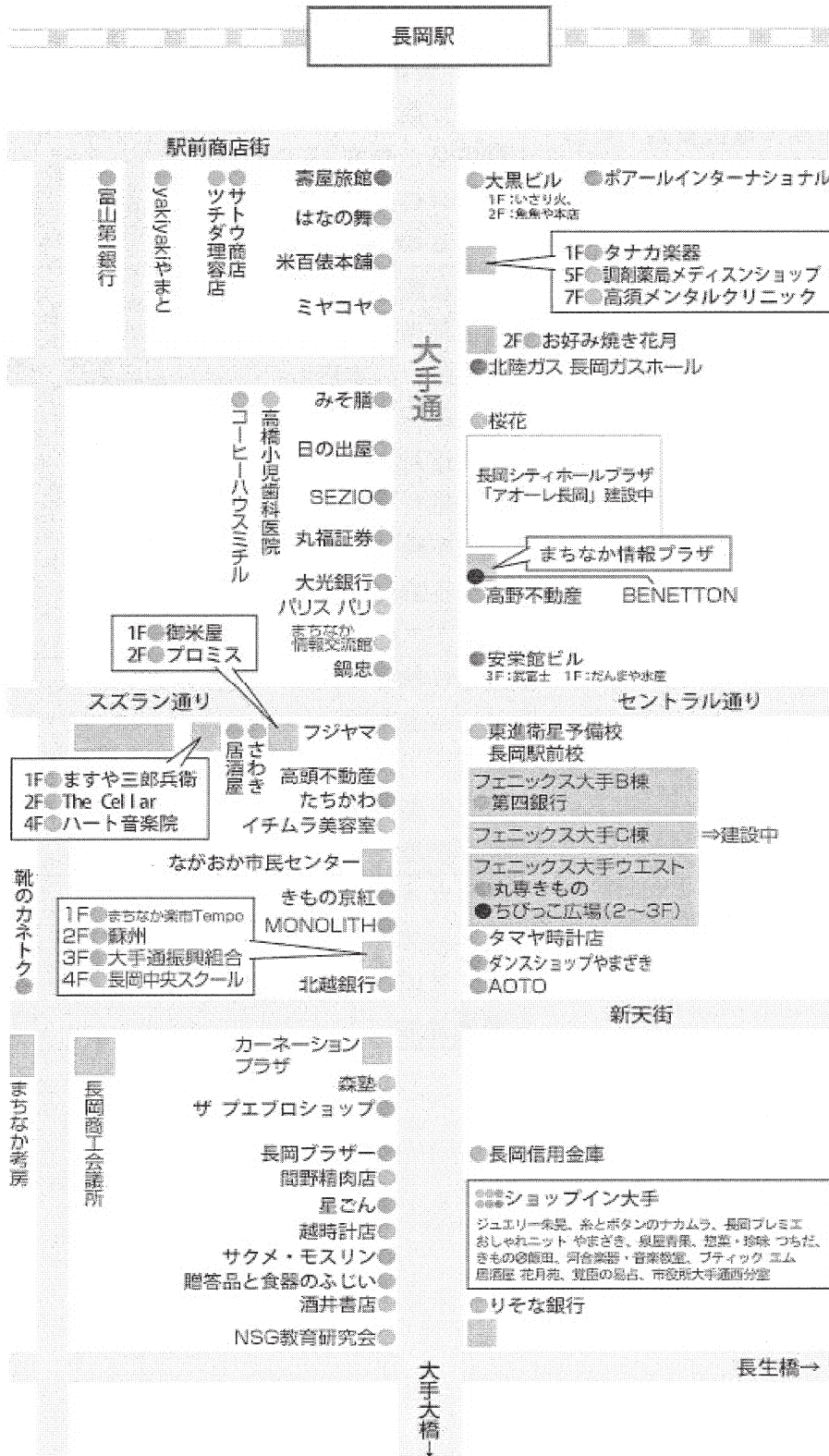
大手通商店街ホームページ <http://otedori.jp/> トップ→店舗紹介

紹介されている店舗は以下の通りである。

<p>食 品 店</p>	<p>ショップイン大手 越後の地酒・サトウ商店 フレッシュフルーツ・フジヤマ 間野精肉店 お菓子処・米百俵本舗</p>
<p>飲 食 店</p>	<p>ショップイン大手 コーヒーハウス・ミチル ShotBar The Cellar (大手セブンビル 2F) 居酒屋 ますや三郎兵衛 (セブンビル 1F) お好み焼き 花月 (ドルミー駅前ビル 2F) 居酒屋 御米屋 駅前店 (セブンビル B1F) 中華料理 蘇州 いさり火 (大黒ビル 1F) 魚魚や本店 (大黒ビル 2F) はなの舞 長岡駅前店</p>
<p>医療・美容</p>	<p>イチムラ美容室 ツチダ理容室 高橋小児歯科医院 高須メンタルクリニック 調剤薬局メディスンショップ 長岡駅前薬局</p>
<p>ファッション・バッグ</p>	<p>かばんの AOTO 婦人服の MONOLITH ファッションの SEZIO きもの京紅 長岡店 ファッション&タオル サクメ・モスリン ショップイン大手 バッグのたちかわ (セブンビル 1F) ダンスショップやまざき 丸専きもの 靴のカネトク きもの処 星ごん ザ プエブロ ショップ 長岡店</p>
<p>宝石・時計・カメラ</p>	<p>ショップイン大手 越時計店 宝石のさわき (大手セブンビル 1F) タマヤ時計店</p>

	宝石・時計・メガネのミヤコヤ カメラの日の出屋
生活用品・電化製品・楽器	ショップイン大手 大和 長岡店 タナカ楽器 駅前店 贈答品と食器 ふじい ミシンの長岡ブラザー くらしの道具 鍋忠
金融・不動産	りそな銀行 長岡支店 丸福証券 大光銀行 本店 第四銀行 長岡支店 長岡信用金庫 北越銀行 本店 高頭不動産 大手支店 高野不動産 長岡駅前支店 プロミス株式会社 長岡支店
塾・書籍	NSG教育研究会 長岡本校 ハート音楽院 森塾 長岡中央スクール 東進衛星予備校 長岡駅前校
ホテル・旅行・その他	北陸ガス長岡ガスホール ショップイン大手 (有)フェスタ (安栄館ビル) ことぶきや 壽屋旅館

図3 大手通商店街地図



(出所) 大手通商店街 HP 商店街探検 MAP

5. 今年度の活動概要

5.1 「市民活動まつり」参加報告

5.1.1 「市民活動まつり」参加のきっかけ

昨年中越高校放送部が大手通の取材を行った際、大手通に6体のブロンズ像が設置されていることに気が付いた。取材を続ける中で、原画を作成された越時計店店主野本氏と出会い、温かい雰囲気の中、原画と大手通にあるブロンズ像を活かせないかと考え、本学との協働で原画を活かせるカレンダー作成ができないかという話し合いになった。

5月から中越高校や大手通商店街の方々との話し合いを進めてきて、カレンダーの制作費について、印刷会社をお願いして刷るとなると、ロット制で1ロット100万円は必要であることがわかった。この制作費はどうか、資金やスポンサーが無いので印刷するのは無理ではないのか。しかし、だからできませんでは通用しない。

そこでカレンダー以外で大手通を活性化できることはないかと考えた。更に既存のイベントと絡めて、学生が出来ることを実行してほしいとの依頼を受け、私たちの間でもう一度話し合いを行った。その中で、スタンプラリーという意見が出てきた。スタンプラリーならば必要経費も少なく、自分たちで資金を集められるので、それを大手通のイベントである「市民活動まつり」の中で行おうと思い、企画したのがきっかけとなる。そして大手通ちびっ子探検ラリーを提案し実行した。

5.1.2 大手通ちびっこ探検ラリーの実施

(1) 大手通ちびっこ探検ラリー概要

大手通を会場としたクイズラリーで、大手通に出題者を配置する。安全面を考慮し、市民活動まつりで歩行者天国となっているエリアで行う。参加者の対象は小学生とし、参加者には出題者を探しクイズを聞いた後、その答えを探してもらう。出題した人の周辺に答えがあり、小学生でも答えが見つかりやすいように工夫した。また、クイズを解く過程で大手通への理解を深めてもらえるようにしたいと考えた。各問題にチャレンジするとスタンプが集められ、全てのスタンプを集めた人は景品と交換できる形を取った。我々、長岡大学鯉江ゼミ及びサークルびゅう、長岡大学事業創造サークルNaMECや写真部の総勢19名で対応した。クイズ出題者として子供たちにクイズを出す人に10人、警備担当として子供たちの安全や誘導及び呼び込みなどを行う人に5名、受付に2名を割り振り、写真部の方々にはスタンプラリーの様子撮影などをして頂いた。

スタッフ	鯉江ゼミナール、サークルびゅう 長岡大学事業創造サークルNaMEC、写真部
日時	11月6日 13:00~15:00 (約2時間)
場所	大手商店街 (本部はカーネーションプラザ前)
告知方法	チラシ、ポスターによる呼び込み。また、当日会場にて呼び込みを行う。
景品	スタンプを全て集めて本部に戻ると、景品と交換できる形式。 紙袋を購入して、以下の物を均等にに入れてリボンで飾り付けをした。 クリアファイル、消しゴム、しおり、クリップ (全て大学からの提供)

(2) 準備段階の流れ

①企画案の選定

9月30日に大手通商店街振興組合事務局の方とカレンダー企画の打ち合わせを行った。そこで予算面、期間が長いという問題点があがり、短期間で商店街が先導するのではなく学生が考えたイベントはどうかというアドバイスを頂いた。

②企画案の練り込み

9月30日に行われた大手通商店街振興組合事務局の方との話し合いで頂いたアドバイスを基にイベントを考える。大手通内でイベントを行うことになると許可を頂くため役所に行き、認証されるまでの期間を考えると実現が難しいと思われる。そこで大手通の既存のイベント「歩行者天国」と絡めてイベントを行う案を出した。そしてイベントは小学生を対象としたものを考える。理由は子供たちに大手通ことを知ってもらいたと考えたからである。

③大手通商店街事務局との話し合い

10月25日に前回の企画で問題となったコストと期間のことを考えた新しい企画「大手通スタンプラリー」の企画の説明を行った。まだ問題点があるものの順調に話し合いが進み大手通ラリーの企画案が採用された。「子供を対象にするイベントなのでイベントの名前もそれっぽくした方が良い」と野本さんに言われ、「大手通ちびっ子探検ラリー」と命名した。

④中越高校側への参加のお願い

10月27日に大手通ちびっ子探検ラリーの企画を説明し、中越高校の生徒にも参加して欲しいと話し合いを行った。しかし生徒の保険や参加を了承する手続き、この時期は忙しいため生徒が集まらないのではないのか、という意見が中越高校から出された。そこで、お願いするのは難しいと思い大学でもう一度よく考えた結果、参加を見送ることに決定し、直ちに中越高校にお伝えした。

⑤チラシ・ポスター作成・スタンプ台紙の作成

Web上に存在する無料イラストの春夏秋冬/イラストわんパグを活用し、作成を行った。子供向けのことを考え可愛らしさを強調し作成した。(図4参考)

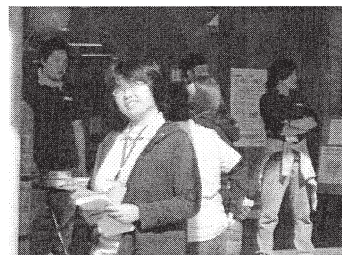
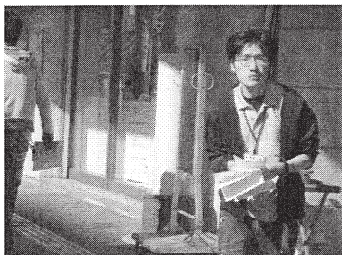


図4 使用したポスター

長岡大学 大手通り ちびっ子探検ラリーを開催します。

受付日時：11月6日(土) 午後1時~午後3時
 所要時間は、約30分くらいです。
 ※景品がなくなり次第、終了となります。
 どうぞご了承ください。

受付場所：カーネーションプラザ(旧大和)前
 対象：小学生
 ※参加無料です。ぜひ参加してください。

受付はカーネーションプラザ(旧大和)です。

カーネーションプラザ(旧大和)

【大手通りちびっ子探検ラリー】とは

1. 大手通りに黄緑色のTシャツを着た、長岡大学の学生がいます。まずはその人たちを探してみよう!
2. その人たちが問題を出します。
3. クイズにチャレンジしてスタンプを集めよう (*^_^*)
4. スタンプを全部集めて受付に行くと景品がもらえます。

大手通り商店街様のご好意により、長岡大学学生も参加させていただきます。
 <問い合わせ先>長岡大学 地域活性化プログラム 山田
 TEL 0258-39-1600

長岡大学



⑦ゼミナール以外の方への参加のお願い

ゼミナールの人数ではイベントを行うには少なく、上手く写真で記録を残す事を考え、サークルびゅう及び長岡大学事業創造サークルN a M E C、長岡大学写真部への参加のお願いを行った。

(3) 当日の全体の流れ

10:30	カーネーションプラザ前に集合し、打ち合わせ、準備を開始する。
11:30	呼び込みを開始する。
12:30	ちびっ子探検ラリー準備開始。長岡大学事業創造サークルN a M E C合流。 出題者、警備は持ち場に着く。 受付は受付場所で待機する。
13:00	ちびっ子探検ラリー開始。 出題者→出題。答えの確認。スタンプを押す。 受付→受付場所でスタンプカードを渡す。軽くルール説明を行う。 警備→子供たちの見守り。
15:00	ちびっ子探検ラリー終了。その後片付けを行う。
16:00	終了予定。大学からの人は一度大学に戻り、それ以外は現時解散。

(4) 大手通ちびっ子探検ラリーのクイズ内容

問題文	答え	備考
これは何のためにあるでしょう？	目が不自由な人が道を歩くため	図 5-1
「ちびっこひろば」の看板の車輪の数は何個でしょう？	22 個	
アーケードで自転車が通るのは、建物側？車道側？	車道側	
このブロンズ像のタイトルは何でしょう？	さえずり	図 5-2
このマークはどこにあるでしょう？	長岡ブラザー	図 5-3
越時計店のお店の人は、どっちでしょう？	B	図 5-4
このブロンズ像のタイトルは「ないしょ」と言います。 この女の子は何を話しているでしょう？	何でも正解にする	図 5-5
大手通の名前の由来はどっちでしょう？	A	図 5-6
市民センターの 1 階にある紙風船の数は何個でしょう？	11 個	
平成 24 年に完成するシティーホールの名前は 何でしょう？	アオーレ長岡	

図 5-1

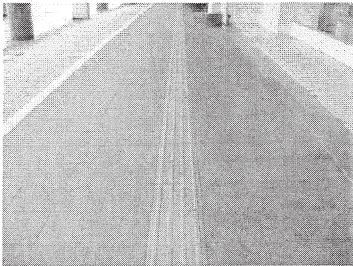


図 5-2

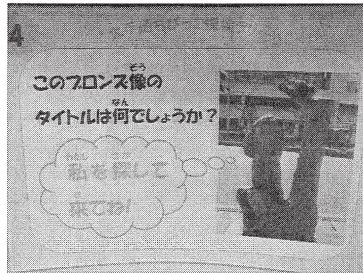


図 5-3



図 5-4



図 5-5



図 5-6

- A: 昔長岡城のあった場所(現長岡駅)に通じる城門があり、その城門を市民の間で大手門と呼んでいたことから大手通と呼ぶようになった。
- B: 昔、大手通の人がたくさん犬を飼っていました。そして大手通で『おて』の練習をしていたことにより、おて～おおてになり大手通となった。

(5) 当日の様子

クイズは当初の予定通り、大手通で探すと見つかるものを盛り込むと同時に、子供たちの勉強となるような問題も出題した。出題担当は子供たちが理解できるよう言葉遣いや目線など出題の仕方に注意を払った。警備担当は子供たちが安全に参加したらもらえるように見回り活動を異なった。幸いけが人もなく無事企画を終了することが出来た。イベント決定から実行まで2週間という限られた時間の中で、市民へのPRはほぼ当日の呼びかけだけだったが、予想を上回る76名の方に参加して頂くことが出来た。参加して下さった方々からは温かい言葉も沢山かけて頂けた。子供たちの笑顔にも多く触れられたことが、この企画を実行した一番の成果だと思われる。

5.1.3 大手通ちびっ子探検ラリーの評価と今後の課題

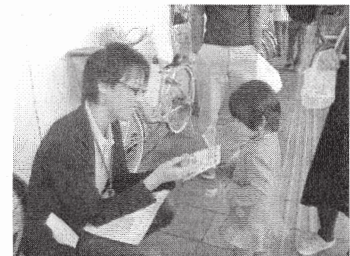
(1) スタッフアンケートの結果

当日参加して頂いたスタッフにアンケート調査を行った。

質問は以下の通りである。

- ①あなたは当日どんな仕事をしていましたか？
- ②その仕事をする上で気をつけたことはなんですか？
- ③自分の行った仕事の感想を記入して下さい。
- ④全体の感想を記入して下さい。
- ⑤今後この様なイベントを行う際に改善した方が良いと思われることはありますか？
(自分が行った仕事、全体の流れなど、思うことを何でも書き込んで下さい)

これを仕事別にまとめてみた。



②. その仕事をする上で気をつけたことは何ですか？

<警備担当>

- ・子供が安全にイベントに参加できるように気をつけた。
- ・できる限り注意して見回るようにした。
- ・子供たちがわき道にそれないように注意して見ていた。

<クイズ担当>

- ・解かり易い説明をしようと心掛けた。
- ・子供と同じ目線で話す。(しゃがむなど)
- ・子供がパネルを見やすいようにクイズを出す際にしゃがんで、クイズを声に出して読んだ。

<写真担当>

- ・ゼミ生とラリーに参加してくれた小学生や、保護者が楽しく触れ合っているところを撮影する。特にラリー参加者の顔が写ると個人情報的にまずいので気を付けた。
- ・シャッターチャンスを見逃さないように常に気を配った。
- ・人が多かったので通行の妨げにならないように周りにも気をつけた。

<総括>

- ・全体を見てまわれるように心掛け、常に巡回していました。

③. 自分の行った仕事の感想を記入して下さい

<警備担当>

- ・子供とイベントをすることで自分も一回り成長することができた。
- ・ビラを配るのに躊躇してしまうことがあった。
- ・歩いていると子供たちが話しかけてきて楽しかった。

<クイズ担当>

- ・子供たちと触れ合えて良かった。
- ・沢山の子供たちと交流する良い機会を得ることができ、楽しかった。
- ・子供たちと触れ合えて楽しかった。言葉の意味が伝わらない時に、どう言えば伝わるかを考えるのが大変だった。

<写真担当>

- ・参加者の顔が写らないように、ゼミ生との交流を写真におさめるタイミングが少し難しかった。

<総括>

- ・1人で全体を見ることは大変でした。
- ・もっと全体を見れる人間がいれば、ブロックに分けられたのにと感じました。

④. 全体の感想を記入して下さい

<警備担当>

- ・このイベントにおいて子供たちの警備をしたことで、イベントをやることの難しさを知った。
- ・特に問題もなくイベントを終えられて良かった。
- ・楽しかった。

<クイズ担当>

- ・忙しかったのですが、市民の方々と触れ合えて良かったです。
- ・前日に急に依頼されたのですが、参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・歩行者天国自体がなかなか賑わっていて楽しかったです。

<写真担当>

- ・走り回ってチャンスを逃がさないように、撮影するのも大変でしたが、ゼミ生の方もそれぞれ指定された位置に立ちながら参加した小学生にわかりやすい説明をするのは大変であったと思います。
- ・本当にお疲れ様でした。そして写真部への声掛けありがとうございました。楽しかったです。今後とも是非よろしくお願いします。
- ・常に動き回っていたので想像以上に大変な仕事でしたが、多くの方に参加して頂いたおかげで何枚か良い写真が撮れました。

<総括>

- ・時間が無い中での作業で、準備段階でも作業する人間が不足、物事を進めることがとても大変だと感じました。

- ・とても大変だったと感じましたが、予定よりも多くの人を集客することができ、良かったと思います。

⑤. 今後このようなイベントを行う際に改善したほうがよいと思われることはありますか？
(自分が行った仕事、全体の流れなど、思うことを何でも書き込んで下さい)

<警備担当>

- ・準備の管理をしっかりしたほうが良い。

<クイズ担当>

- ・私が担当したクイズに、「車輪」という言葉があって、「車輪」よりも「タイヤ」と言ったほうが子供たちには通じやすかった。言葉の選び方をもう少し考えたら良い。
- ・景品がちょっと寂しい。

<写真担当>

- ・自分自身への改善点はもっと様々な角度から撮影すること。
- ・ゼミ生の方は参加者に笑顔で接していることが印象的だったので、今後も笑顔を忘れないで欲しいと思いました。
- ・ラリーで人が多く来る場所と来ない場所があったのですが、人が来ない場所に待機している人はあまり仕事がなかったようなので何かしら改善した方が良いでしょう。

<総括>

- ・物の管理をしっかりする。
- ・全体を見られる人間を増やすこと。
- ・クイズ担当者の件で交代する人間を用意するべきであった。

(2) 成果と今後の課題

このアンケートの結果、仕事をする上で気をつけたことについては、それぞれ自分が行う仕事に対して心掛けるものが何かしらあり行動していた。これは目標を決めて行動する力が強いと考えられる。

自分の行った仕事の感想については、この企画全体としては多くの人が集まり大きな問題が起きずに終えて良い結果だったと思う。その上で満足した人もいれば、もっと上手く行えたかもしれないという人もいた。このことから個人個人によって仕事の達成感が違うということが分かった。

全体の感想については、回答の多数は良かったと記入されていた。これは全体で共通する意識があったからだと思われる。今後この様なイベントを行う際に改善した方が良いでしょう。このことについて、自分の行った仕事の感想でもっと上手く行えたかもしれないという人はそれぞれ思うことを書かれていたが、満足した人はこの項目の回答は無記入や「特になし」と記入する人が多かった。これは結果に満足した人は次も同じようなこと行えば同じ結果になるから良いのではないのかという考えだろうか、これでは今後上に進むことは難しいと思われる。結果に満足しても更に上を目指すのならばどうして成功したか、どの働きが良かったなど成功例を記入して欲しかった。全体の結果として、目標を決めて行動する力は強いが次に繋げる力が弱いことが判明した。つまり、短期的な企画は強いが長期的な企画力が弱いと感じられる。今後の課題として長期的な企画力を強めるために次に

繋げる力を付けることが必要ではないかと思われる。

また、大手通ちびっ子探検ラリーは成功したといえるが、本来の取組目的を達成していないことを学生自身が気づいた。そこで以下の2つの企画を実行することにした。

5.2 カレンダー作成

5.2.1 企画経緯

中越高校からのお誘いで始まり、一度は経費の問題などから断念したカレンダー作成だったが、やはりカレンダーという普段目にするものに原画を取り入れ、より多くの人に原画を見てもらいたいと考えた。再度ゼミ生で話し合いを行い、予算面を解決するためにホームページで印刷する形式でカレンダーを作成することにした。

5.2.2 企画内容

個人が考えたカレンダー案を持ち寄り、案を組み合わせながら班で1つのカレンダー案を決定した。その際、カレンダーの形式は自由とし、ブロンズ像を使うことだけを念頭に置いて作業にとりかかった。各班でカレンダー案の原画の彩色をして、データでホームページ作成担当者に引き継いだ。

また、より多くの人に使用していただくために何が必要か班で話し合いを行い、印刷が面倒と考える人のために、デスクトップの壁紙・携帯電話の待受画面として使用できるものも作成した。ホームページ作成者は提出されたカレンダーをPDF形式に変換し解説等を加えホームページにアップした。

<班編成>

〔1班〕大井拓朗、小島和幸、寺本誉、李佩、今坂麻美、粉川大樹、中嶋真悠美、南雲涼

〔2班〕黒田美奈子、重野友里、大平卓弥、小林薫、竹内祐輝

〔3班〕石綿真也、山田祐介、小嶋さやか、関根絢也、中山佳之

5.2.3 カレンダー作成における課題・反省

カレンダー作成を通して、メンバーに聞き取り調査を行い以下のような課題・反省点が挙げられた。また、良かった点や心残りだった点も挙げられたのでそれらについても記載しておく。

班での打ち合わせの際に、カレンダーの文字のサイズ等、細かい所まで考えられていなかった。そのため、印刷してみるとイメージと違い、実際に使うとなると見づらかった。使う人の立場が考えられておらず、とりあえず作成したという感じになってしまっていた。

しかし、これら問題点の発見とそれへの対応がスムーズにでき、結果的にシンプルできれいなものができたと思う。一人一人が案を持ち寄ったことで、いろいろな案が出てきたことが良かった。しかし、全員がきちんと案を考えてきたのは1つの班だけで、他の班は考えてこない人もいた。全体として、良かった点は仕事を先読みして行動してくれる人がいたことだ。また、今まであまり発揮されていなかった、メンバーの新たな才能を知ることが出来た。

HP作成では技術を持った人にばかり負担がかかってしまったが、途中からは、指示を出し、仕事を割り振ることが出来てきた。仕事量の偏りがあったことは改善しなければならない点である。

心残りだった点として挙げられたのは、時間的に厳しく、形式等の工夫が出来なかったことや、今回は自由に作成したが、班ごとにテーマがあっても良かったことなどが挙げられた。班ごとに課題・反省点が異なりそれぞれ苦労が絶えなかった。

5.2.4 カレンダー完成品

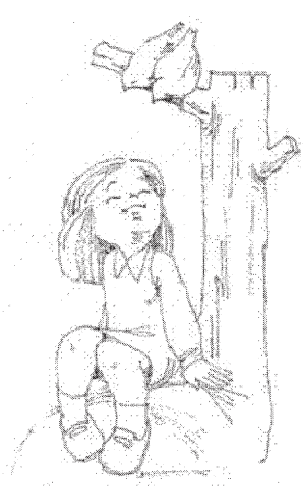
以下に班ごとの成果物を掲載する。カレンダーは長岡大学ホームページ地域活性化プログラムページ内で印刷が可能。

また、その他にもデスクトップの壁紙、携帯電話の待受画面もある。


<印刷形式のカレンダー①>

対象は子供や塗り絵が好きな人なる。月ごとに目標を書き込む欄があり、これを有効に活用してもらいたい。

4月の目標



日	月	火	水	木	金	土
2/27	28	29	30	31	4/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29 昭和の日	30
31	2	3	4	5	6	7


長岡大学

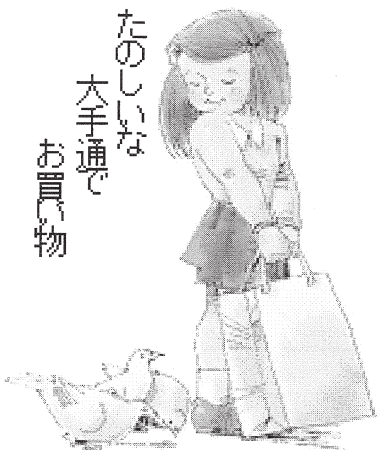
<印刷形式カレンダー②>

色を塗り、学生が考えた五七五を入れた。二枚目は塗り絵となっている。

日 月 火 水 木 金 土						
						1 光勝
2 大別	3 光勝	4 伊豆	5 光勝	6 大別	7 光勝	8 長峰
9 大安	10 伊豆の国 赤口	11 光勝	12 大別	13 光勝	14 長峰	15 大安
16 伊豆	17 光勝	18 大別	19 光勝	20 長峰	21 大安	22 伊豆
23 光勝 30 大別	24 大別 5 光勝	25 光勝	26 長峰	27 大安	28 伊豆	29 光勝

2011年 **1月**

たのしいな
大手通で
お買い物




長岡大学

日 月 火 水 木 金 土						
		1 長峰	2 大安	3 光勝	4 大別	5 光勝
6 長峰	7 大安	8 伊豆	9 光勝	10 大別	11 伊豆の国 赤口 5	12 長峰
13 大安	14 伊豆	15 光勝	16 大別	17 光勝	18 長峰	19 大安
20 伊豆	21 光勝	22 大別	23 光勝	24 長峰	25 大安	26 伊豆
27 光勝	28 大別					

2011年 **2月**


たのしいな
大手通で
お買い物



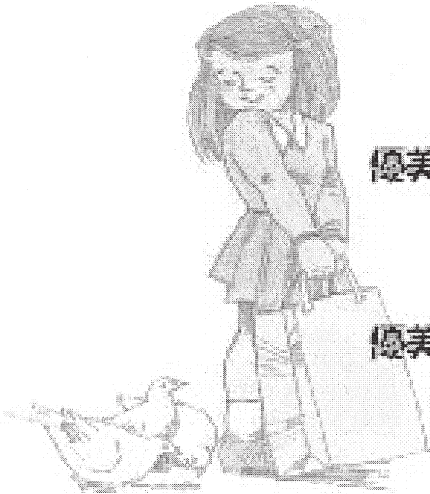
長岡大学

<印刷形式カレンダー③>

学生が考えた会話付きのカレンダーとなっている。2カ月1枚で日付の横にはメモ欄を設けている。



長岡大学

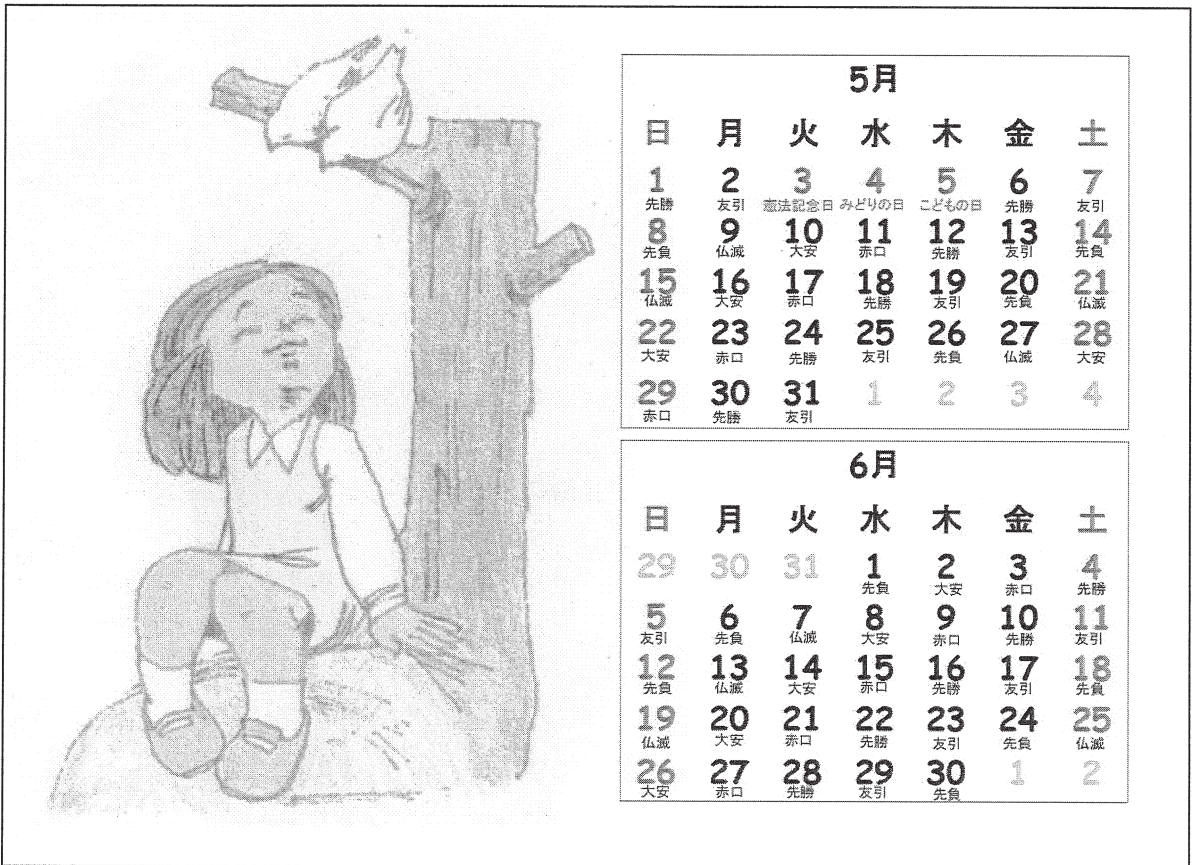


優美：あ～、お母さんと買い物きたけど、
ちょっと疲れちゃった。

優美：あ、ハトさんかわいいいな

2011年		1月	2月	
1日(土)	元旦 先勝		1日(火)	仏滅
2日(日)	友引		2日(水)	大安
3日(月)	先負		3日(木)	先勝
4日(火)	赤口		4日(金)	友引
5日(水)	先勝		5日(土)	先負
6日(木)	友引		6日(日)	仏滅
7日(金)	先負		7日(月)	大安
8日(土)	仏滅		8日(火)	赤口
9日(日)	大安		9日(水)	先勝
10日(月)	赤口 成人の日		10日(木)	友引
11日(火)	先勝		11日(金)	先負 建国記念の日
12日(水)	友引		12日(土)	仏滅
13日(木)	先負		13日(日)	大安
14日(金)	仏滅		14日(月)	赤口
15日(土)	大安		15日(火)	先勝
16日(日)	赤口		16日(水)	友引
17日(月)	先勝		17日(木)	先負
18日(火)	友引		18日(金)	仏滅
19日(水)	先負		19日(土)	大安
20日(木)	仏滅		20日(日)	赤口
21日(金)	大安		21日(月)	先勝
22日(土)	赤口		22日(火)	友引
23日(日)	先勝		23日(水)	先負
24日(月)	友引		24日(木)	仏滅
25日(火)	先負		25日(金)	大安
26日(水)	仏滅		26日(土)	赤口
27日(木)	大安		27日(日)	先勝
28日(金)	赤口		28日(月)	友引
29日(土)	先勝			
30日(日)	友引			
31日(月)	先負			

<デスクトップの壁紙>



<携帯電話の待受画面>

ホームページ内の QR コードを読み取りダウンロードできる。



5.3 ストーリー作成

5.3.1 企画経緯

中間発表会の際、野本氏から「ブロンズ像に自由に名前を付けたりストーリーを付けることで、もっと愛着を持たせることができないか。」という意見を頂きました。それを具体化させるために本ゼミの学生がストーリーの作成にあたった。

5.3.2 企画内容

ゼミ全体で統一を図るためにストーリーのパターンを考えた上で、より自由にするために3グループに分かれ作成にあたった。本ゼミで考えたストーリーのパターンは①会話形式のもの、②1枚の原画を利用したストーリー、③6枚の原画を組み合わせたストーリーの3パターンである。

また、野本さんへのヒアリングから6枚の原画に描かれている9人の登場人物はすべて別人であり、そのすべてに名前を付けた。

ストーリーは長岡大学地域活性化のホームページで公開し、一般の方々からのストーリーも募集する。

5.3.3 ストーリー作成における課題・反省

ストーリー作成を通して、メンバーに聞き取り調査を行い以下のような課題・反省点が挙げられた。また、良かった点や心残りだった点も挙げられたのでそれらについても記載しておく。ストーリー作成に関しては、内容を濃くできればよかった、話を作るセンスがなかった、国語の勉強をしておけばよかった、もっと早く取り組むべきだった、分かりやすい文書をつくることに苦労したなどが挙げられた。その他には、会話はもっとチームで話し合いながら考えるべきだった、チーム全体の意識がバラバラだった、長期休暇をもっと有効活用するべきだった、様々な意見がでてきたことはよかったなどが挙げられた。

班ごとに課題・反省点が異なりそれぞれ苦労が絶えなかった。

5.3.4 ストーリー完成品

以下に各班ごとの成果物を記載する。こちらのストーリーは長岡大学ホームページ地域活性化プログラムページ内で閲覧できる。

(1) 「会話形式」と「1枚の原画を利用したストーリー」

【お買い物】

[会話 1]

えり「かわいいハトがついてくるよ」

[会話 2]

「餌ちょうだい」

「ごめん今ないの、また今度ね」

[会話 3]

優美「あ～、お母さんと買い物きたけど、ちょっと疲れちゃった」

優美「あ、ハトさんかわいいな」



[ストーリー1]

今日は大手通りでお買い物。お母さんと一緒に服や本などを買いに来ました。

買い物の途中に広場を歩いていると、ハトがいることに気づく。

人懐っこくて近づいても逃げずに更に後を付いて来る。

お母さんが呼んでいる、買い物に戻らないと。

買い物をしていると色々な出会いがあって楽しい。

[ストーリー2]

お母さんに頼まれたおつかいをすませ、さちこは大手通りを歩いていました。両腕で支えた紙袋から視線を移すと、ハトが餌をつつついているのを見つけました。よほど一生懸命に食べているのか、ハトのすぐ横を人が通り過ぎても、おかまいなしに食べ続けています。さちこがその様子を見てみると、ハトもジッと見つめ返してきます。「餌をくれ、見るんだったら餌をくれ」と声が聞こえました。「ごめん、今何もないの」と断ってしまいました。さちこはハッとしました。目の前にはハトが食べ続けていました。もう一度、お話がしたいと思って待っていましたが、ハトは食べ終え飛び去ってしまいました。今度は餌を持ってきてみようと思いながら帰って行きました。

【なかよし】

[会話 1]

幸子「あのねー」

たけし「うんうん」

[会話 2]

ゲンキ「今日は楽しかった」

さくら「ありがとう。また遊ぼうね」

[会話 3]

麗奈「司くんが好き」

司「てへへ、僕もだよ」

麗奈「チュ！」



[ストーリー1]

今日は二人が出会って一年目になる記念日だ。出会ったこの場所でいろんなことを思い出す。

楽しく遊んだこと、いろんな所に行ったこと、喧嘩もしたけどよりお互いのことを知れてより仲良くなった。

[ストーリー2]

四月になり雪が解けようやく外で遊べるようになりました。しかし、新しい学年、新しい教室、新しいクラスにさくらは戸惑っていました。そのせいであまり外で遊ぶ事がなくなっていました。ある日、一年生の頃からの友達のゲンキ君から遊びに誘われました。その場所に行くと新しいクラスの人もしました。最初は緊張しながらでしたが、ゲンキ君のおかげで、徐々に打ち解け、そのうち自分から話しかけ一緒に笑っていました。さくらは久しぶりにたくさんの友達と遊びました。あっという間に時間が過ぎて友達がなくなった後、あまりの楽しさにさくらは座っていたゲンキ君のほっぺにキスをしました。

【さえずり】

[会話 1]

チュンチュン

ちえ「あったかいねー」

[会話 2]

さとみ「この場所いいよね」



[会話 3]

陽葉「雪が解けてあったかくなかったな〜」

陽葉「鳥さんも気持ちよさそう」

[ストーリー1]

小春日和の今日この頃、日に日に暖かくなってきたので散歩を試みる。

桜の木はまだ花が咲いていないけど、蕾があるからあともう少し経てば満開になるだろう。

歩き疲れたのでこの木の下で一休みしよう。休んでいると小鳥が木の枝にやって来た。小鳥も飛び疲れて一休みかな？小鳥のさえずりが聴こえてくる。こうしていると一緒にお話しているみたい。

[ストーリー2]

さとみはふと子供の頃を思い出しました。そこは長岡の自然が多い山の中、その木はちょうど小さい女の子が座りやすい形で、風の通りが良い、誰にも言っていない秘密の場所でした。嫌な事、つらい事があってもここに座ると不思議と気分が落ち着きました。あの頃そこに腰をかけていると、自然と鳥や虫が集まり日が暮れるまでお話をしていました。しかし、今はどこにあるか思い出せません。ときどきあの頃を考え、あの頃の自分、あの場所に無償に戻りたくなります。

【あっ花火】

[会話 1]

健太「フェニックス大きいね」

優子「きれいだね」

[会話 2]

「ほら、今の花火みた？すごかったよー」

「すごかったねー」

[会話 3]

恋次「こっからが一番よく見えるんだよ」

恋花「わー、すごい！！」

恋次「また来年も来ようね」



[ストーリー1]

ヒュ〜〜〜ドン！！ドン！！

男の子「たまや〜」

女の子「かぎや〜」

河川敷から何十発の花火が打ち上げられている。

女の子「どうして花火がこんなにも上がっているの？」
男の子「それは長岡空襲（1945年）から復興を願ったのが始まりで、その後（1956年から）8月1～3日は長岡まつりという大きなお祭りが開催されるようになったんだ」
女の子「長岡まつりってどんな祭りなの？」
男の子「大きく分けて前夜祭・昼行事・大花火大会があるよ。」
女の子「前夜祭は何をするの？」
男の子「1日の夕方から長岡駅前大手通り・すずらん通りで灯籠流し・大民謡流し・悠久太鼓の演奏・消防音楽隊の行進・ハーレーダビッドソンの行進・神輿などがあるよ」
女の子「昼行事は？」
男の子「2、3日の日中に長岡駅前大手通り・すずらん通りで長岡市内外の企業・団体などがブースを出店するんだ」
女の子「それじゃあ今やっているのが花火大会なんだね」
男の子「そうだよ。2、3日の夕方から、信濃川河川敷で行われるんだ」
女の子「いろいろな花火がいっぱい上がっているね」
男の子「そうだね、中でも最も注目すべきはスターマイン、三尺玉、フェニックスかな」
女の子「フェニックスって何？」
男の子「2004年10月の新潟県中越大地震の復興を願った花火なんだよ。大震災に負けずに現在も頑張っている中越地域をはじめとする新潟県全体の大勢の人々を元気付けるために、また一日も早い復興を祈願し世界一として誇れるような壮大な花火にしたいという思いから打ち上げられているんだ。更には、世界中の人々の復興とご支援頂いた多くの方々への感謝のシンボルとしての意味が込められているんだ」
女の子「長岡まつりっていろんな人の思いが込められている祭りなんだね」
男の子「そうだね、僕もまだ知らない事がいっぱいあるからもっとよく調べてみよう」
女の子「私も調べよう！これを読んだあなたも是非調べて、もっと長岡花火の魅力を知ってほしいな」

一年は長く、いろんな出会いがある。

春、日に日に暖かくなってきたので散歩をしてみる。

木の下で休んでいる女の子見ていると、小鳥が木の枝にやって来た。

小鳥のさえずりを女の子は楽しそうに聞いている。このような出会いもある。

大手通りで買い物の途中に広場を歩いていると、女の子とハトがいることに気づく。

ハトは人懐っこくて近づいても女の子の後を付いて来る。

買い物をしているといろんな出会いがあって楽しい。

夏、花火の日は沢山の人が集まる。大きなお祭りですべての人が賑やかで楽しそう。

大きな花火で更に盛り上がり楽しい出会いがいっぱいある。

秋、とある兄妹の散歩を見かけた。妹は何か隠し事をしているような気がする。兄はその相談相手かな。

冬、ヒューと北風が吹く。犬と散歩をしている女の子を見かける。風が強く吹き帽子が飛ばされてしまったが、犬が取ってきてくれた。

そして今日は二人が出会って一年目になる記念日だ。いろんなことを思い出す。

楽しく遊んだこと、いろんな所に行ったこと、喧嘩もしたけどよりお互いのことを知れてより仲良くなった。

男「これからも仲良くしていこう。」

女「うん」

この絆がいつまでも続くように。

[ストーリー2]

今日は長岡花火の日です。卓也君と京子ちゃんはそれぞれ家族と花火を見に来ていました。しかし二人は前から一緒に花火を見ようと約束していました。そこで卓也は家族とわかれて約束の場所に向かいました。京子ちゃんは先に来ていて、一緒に花火を見始めましたが、建物が壁になり見えませんでした。「みえないね」「そうだね」と落ち込みながら歩いていると、たまたまベンチがありました。そこに座っていると、突然おおきな花火が上がりました。目の前が明るくなり、2人の顔を照らします。偶然にも、そこは丁度花火が見やすい場所でした。二人は立ち上がり大はしゃぎで最後までそこで花火をみていました。

【ないしょ】

[会話 1]

慎也「今日、学校でねー」

まなみ「なにになにー」

[会話 2]

美香「誰にもいわないでね」

たかし「わかった、じゃあ戻る」

[会話 3]

恋色「あのね実は・・・」

誠「な～に」

恋色「なんでもないよ。アハハ」



[ストーリー1]

今日は兄妹でお散歩。というのも妹が何か話しがあるからだ。最近何か妹は隠し事をしているような気がする。そのことを話すのかな、と思いながら歩く。

妹「お兄ちゃん、これから話すことお母さん、お父さんに秘密にしてくれる」

兄「ああ、わかった。だから話してみてよ」

[ストーリー2]

美香ちゃんは好きな男の子がいました。しかし、恥ずかしがり屋で想いを伝えることができませんでした。そんな中、友達と一緒に鬼ごっこをしました。鬼になった美香ちゃんがどんどんつかまえていくと、最後に男の子が1人だけ残りました。その子こそ美香ちゃんが好きな男の子でした。やっとなつかまえて思わず小声で告白しました。男の子は最初は戸惑った顔をしていましたが、照れ笑いでお礼を言い、全員が集まる所に戻って行きました。

【風】

[会話 1]

ふう子「きゃー、冷たい風！！」

[会話 2]

ゆか「わ！凄いい風！」

[会話 3]

風：ピュ～～

犬「ワン！ワン！」

芽吹「キャッ！！ぼうしが」



[ストーリー1]

ヒューと風が吹く。今日は風が強い。それでも私の愛犬しんちゃんは元気に散歩をする。私も負けずに元気に散歩をする。しかし風が強い、帽子が飛ばされそうになる。帽子が飛ばされないように気をつけながら一緒に散歩をする。ビューと強い風が吹く。あっ、帽子が飛ばされちゃった。その時、しんちゃんが取ってきてくれた。

女「ありがとう、しんちゃん」

犬「これからも仲良くしていこう。」

女「うん」

この絆がいつまでも続くように。

[ストーリー2]

今日はいつもと同じで犬の散歩中でした。すると大きな風が吹いてきました。普段はあまり風が吹かない場所なのだと思います。先をみると、前の建物が壊され新しい建物ができていました。それが風の通りを良くし、風が吹きこんでいました。今まで慣れ親しんだものがなくなることによってショックを受けながら、明日から別の道を散歩しようと思いつきながら歩いて行きました。

(2) 6枚の原画を組み合わせたストーリー

ここは大手通小学校6年C組、卒業式を前にした最後の授業。

「おはようございます。皆さん」

「おはようございます。冬見先生」

眩しい朝の光が差し込む教室に、子供達の声がこだましました。校庭では、桜の花びらがここぞとばかりに舞い散っている。寒さがまだ少し残る3月のある日、6年生の教室では、最後の授業が行われていました。

「さあ皆さん、今日が最後の授業ですよ。今日は昨日伝えていたとおりに、皆さんに絵本を作って頂きたいと思います。」

「みなさんちゃんと内容を練って来ましたか？」

「はい」「やべっ」「おい、やってきたか？」

様々な声上がる。

「できたら皆さんに発表してもらいます。」

えーという戸惑いの声が上がります。

「じゃあさっそく作り始めてください」

はいという声とともに子供たちが絵本を作りだした。

「そろそろ時間です。じゃあ誰から発表してもらいましょうか・・・」

「じゃあまずはあなたからお願いしますね。」

一人の子が指名され、おどおどしながら黒板の前に立つ。

「じゃあ僕が作った絵本を紹介しますね。」

「これは・・・大手通りに住むある女の子の物語です・・・その日は寒い冬の日でした・・・」

『お買い物』

まだ、暑さが顔を出さない夏の日のお話。

大手通りは、多くの買い物客で溢れかえっていました。そんな中に一人の女の子の姿がありました。その子は、優美（ゆみ）と言います。優美は、母親から買い物を頼まれ大手通に来ていました。

「今日はコロッケにしましょう。優美ちょっとお肉を買ってきてくれない？」

そう頼まれて、いまお肉屋さんの前にいます。初めてではないにしろ、一人で買い物はまだ慣れていない優美です。なかなか、お店の中に入っていくことができずにいます。すると、その姿を見かねたお店の人が出てきて、

「こんにちは。お譲ちゃん今日はなにを買いに来たのかな？」と声をかけてくれました。

「お母さんに頼まれて、夕ご飯のコロッケを買いに来たの。」

たどたどしく、優美は答えます。

「お譲ちゃん一人でかい？偉いねえ。」と答えつつ、お店の人はコロッケを袋に入れて出してくれました。

「ありがとう。」

と言うと、お金をお店の人に渡します。お釣りをしっかりと受け取ると、すぐにお店を飛び出します。後ろから、「気をつけて帰るんだよ。」という声が聞こえてきます。

お店を出ると、少し安心したため息をもらします。ずっと緊張していたのでしょう、手が少し震えていました。後は帰るだけだ！と自分に言い聞かせると、一歩ずつ歩き出します。

そんな小さくとも、しっかりと歩み成長していく女の子の背中をお店の人と大手通りの人々が見送っていました。

「これで僕の発表を終わります。」

そういうと男の子は駆け足で自分の席に戻って行った。

「はいよくできました。女の子の成長する姿がよく文章に表れています。皆さんにもこのような経験をしたことがあるんじゃないでしょうか？」

「では次の人は、その後ろのあなたをお願いします。」

先生は次々と名前を指名していくのでした。

「えっと・・・私の作った物語は・・・ある男の子と女の子がいて・・・

『なかよし』

寒いある日、司（つかさ）は大手通を歩いていました。

「きゃっ」

隣りを歩く麗奈（れな）の視界がひっくり返っていました。凍った地面で滑り、麗奈は地面に倒れていました。

「気をつけろよ。ったく」といいつつ、麗奈の手をとります。

「ありがと」と司に感謝しつつ、手にすがりつきます。

「うわっ」と聞こえたかと思うと、麗奈の視界が真っ暗になります。

何かが、かぶさっています。

かぶさる物といえばひとつしかありません。

「重い・・・」

「ご・・・ごめん」

司が倒れた身体を起こしながら謝ります。

「気をつけてよね。もうっ」

と言いながら、二人は笑い出しました。

笑いながら、起き上がると二人は寒さから身を守るように、くっつき合いながら大手通りを歩いて行きます。

「さあ、今日はどこで遊ぶか？」

そんな声が、雪の残る大手通りから聞こえてきます。

そんなある晴れた日の一日です。

「終わりです・・・」

「はいよくできましたね。二人の仲の良さが伝わってきます。友達の大切さがよく分かる物語ですね」

「では、次の人はあなたをお願いします」

「はい、私の作った物語は、ある日女の子が友達を待っている所から始まります」

『さえずり』

まだ寒さの残る春のある晴れた日。大手通に一人の女の子の姿があります。その子の名前は陽葉（ようは）。今日は、友達と待ち合わせをしています。

しかし、友達はまだ来ていません。市民センター前に 10 時集合ね！そうって昨日は電話を切りました。時計は、10 時 10 分を指しています。

「もおっ！また遅刻かな？」

陽葉は少し怒っています。

なんて文句を言ってやるかを延々と考えていると、どこからか鳥の鳴く声がします。

「鳥さんの声ね。」

どこから声がするのかと探すと、目の前に一羽の鳥がとまっていることに気が付きました。その鳥が、声の主のようでした。

「あら？あなたも一人なの？」

まるで、歌っているかのように、その鳥は鳴いています。いつしか、陽葉はその鳥のメロディに聞き入っていました。

「(心地よい歌声ね)」

そんなことを思っていると、空からもう一羽の鳥が舞い降りてきました。二羽は、出会いを喜ぶかのように鳴くと、どこかへ飛び去っていきました。

「あら・・・少し残念」とがっかりしていると、向こうから

「ごめーん」と言いながら走ってくる女の子が見えました。

「遅い～」と言いながら陽葉も歩いて行きます。しかし、いつしか陽葉の心から、怒りの思いは無くなっていました。

友達と一緒に歩いて行く陽葉は、溢れんばかりの笑顔に包まれているのです。

「これで私の発表を終わらせて頂きます。ありがとうございました」

「はい、素晴らしいですね。この子はなぜ、遅れてきた友達を怒らなかったか、皆さんは分かりましたか？とてもよく女の子の心情の変化が分かるように作り込まれていますね。」

「では次の人、お願いします。」

「俺が作ったやつには・・・恋次とか花恋とかいうやつがでてきて・・・で、・・・じゃあ読むぜ！」

『あっ！花火』

大手通に二人の子供の姿がありました。一人は、男の子で名は恋次（れんじ）といいます。もう一人は、女の子で花恋（かれん）と言います。二人は、幼馴染で日頃から仲良く遊んでいました。

今、二人は家から少し離れた、大手通に来ています。そう今日は長岡の大花火大会の日です。大きな花火が次々と打ち上げられています。

「すげーでかい花火だな」

「そうだね！あっちに良い所を見つけたんだ。行こっ！」

「ナイス！花恋！」

「こっちこっち」

といて花恋は、少し離れた所にある丘に向かって行きます。

「これは絶景ポイントだな。」

「でしょ？ここなら人もあまりいないし。」

花恋は事前にこの場所を見つけるために調べていました。

この花火を見に行こうと誘ったのも花恋でした。

花恋は、恋次の事を好きでした。だから二人っきりになれる、この場所に來たかったのでした。

こうして、花火を二人で見ている時間こそが花恋にとっての幸せでした。

そんなひと夏の、まるで夜空に咲く花火のように、二人が刻む、一瞬だがとても美しい青春の1ページを、夜の大手通だけが優しく見守っていました。

「これで俺の作った話は終わりだ。」

「おまえに似合わねー、ハハハ」

「うるせー」

「はいはい、そこまで。とても素晴らしくできていますよ。女の子のなかなか素直になれない心情がよく文に表れています。本当によくできました。」

「ほらみろ！俺が作ったのは世界一なんだ！」

と胸を張りながら戻って行きます。

「はい、では次の人はじゃあ後ろの席のあなたにお願いします」

「私が作ったのは、男の子と女の子の兄弟がでできます。ある日のことです・・・」

『ないしょ』

夏も過ぎ去り、秋の色合いが見え始めた大手通りに、二人の男の子と女の子の姿がありました。一人は、誠（まこと）ともう一人は恋色（こいろ）です。二人は、いつも仲の良い兄弟でした。今日は、近所の友達の家に行くところでした。お小遣いもお母さんにしっかりと貰ってきました。

「いい？全部使っちゃだめよ？ちゃんと残してきなさいね」

「はい（二人）」

そういつて出てきました。しかし、とあるお菓子屋の前で足が止まります。

「お兄ちゃん・・・あれ！おいしそう！」

そう言うやいなや、妹はお店の中に入ろうとします。兄は止めようとしたのですが、お菓子を前にした妹には勝てません。

「見るだけだぞ！」

それで済むはずは無いと分かりながら、お店の中へ入って行きました。

「お兄ちゃん、シュークリーム食べたい！」

そら来た！と兄は思いました。

「(まあ妹の分だけなら怒られないか)」

そう思い、一個買おうとしたら、妹がぐずります。もっと買えと言うのかと思っていると

「お兄ちゃんの分買わないの？じゃあ私もいない！」と言います。

顔を見れば、要らない訳ないとすぐに分かります。

「まったく・・・お母さんにはシュークリーム買ったことは内緒だからな」

お母さんにどう言い訳しようか考えながら、二人分下さいと店員にお願いするお兄ちゃんでした。そんな二人の秘密を知っているのは、恐らく大手通りだけなのでしょう。

実は店員が母親の知り合いで、のちに母親から二人は、叱られるのと同時に褒められたのは、また別のお話・・・。

「終わりです。」

「よくできました。お兄ちゃんの妹に対する思いと、妹のお兄ちゃんのことを思いやる気持ちがよく表れています。本当に仲良しなのですね」

「では、次で最後の人になります。前の席のあなたにお願いします」

「はい、僕が作ったのは・・・ある日・・・女の子が大手通りを歩いているところから始まります・・・」

『風』

寒さが身にしみる冬の十二月の大手通り。女の子が一人、足取り早く家に向かって帰っていた。芽吹（めぶき）は、学校から帰る途中でした。寒さの所為か、ランドセルがいつもより重く感じていた。

芽吹は、帰ったらコタツにうずくまってお菓子を食べながら、犬のポチといつものごとく、コタツの争奪戦でも繰り広げようかということばかり考えていた。

その時、ふっと風が吹いた。

目の前に積まれていた雪が風に乗って舞い上がり、空を覆った。その幻想的な美しさに目を見張った。日頃見飽きた雪が降る姿とは少し違っていました。

大手通に吹き込む風と雪が織りなすその美しい風景に芽吹は、歩みを止め見とれていました。そして、その幻想の創造主は芽吹をやさしく包み込んだ。芽吹には、風がいたずらをしたくて芽吹の周りをぐるっとめぐったように感じられた。その姿に、芽吹はじゃれついてくるポチのようだと考えていた。

風が過ぎ去った後、いつもの光景が目の前に戻ってきた。たった一瞬の出来事だったのに永遠のように感じた。

芽吹は、空を見上げ「まったくあの子と一緒に、イタズラ好きなんだから・・・」と言うとふふっと、ひそかに笑ったのであった。

「以上で終わりです」

「はい、よくできました。とてもすばらしい物語ですね。日頃見慣れた物も見方を変えると意外な発見が出来るものですね。風を犬と重ね合わせた所も素晴らしい発想ですね。とてもよくできました」

「発表してくれた人だけでなく他の人の作品も皆それぞれ素晴らしいと思います。皆ひとりひとり個々の素晴らしさがあるのだと思います。自分らしさを忘れることなく、これからの人生を歩んでいってほしいと先生は思います。これが先生が皆に教える最後のことです。」

「さあ明日は、卒業式です。皆さん立派に育ってくれました。先生も嬉しいです。明日は皆泣かないように頑張りましょうね。」

「それでは、これで先生の最後の授業を終わりにします」

こうして小さな子供達は不安と期待を胸に、新しい道を歩むために巣立っていきました。大手通りは、時には多くのものを与え育む場となり、また時には人に何かを気付かせる場となる。また時には、弱く儂い人を雄大に包み込んでくれる。そして、多くの人々の笑顔を迎え、また多くの人々の背中を見送っていくのだろう。大手通りは、これからも長岡の人とともに歩み続けるだろう。人々の歩んだ歴史とともに・・・。

6. とりまとめ

今年度の活動を受けて、次年度以降「出会いの街・ながおか」大手通活性化プロジェクトの活動として、ホームページを運営しその中で原画を使ったストーリーの募集を行いたいと考えている。活動の規模は縮小するが、原画を使ったストーリーの募集を通じて「出会いの街・ながおか」に貢献したいと考えている。

次年度の活動は次の2つである。

①ホームページの運営

作成したホームページでは、学生が考えたストーリーや、会話、カレンダーの紹介を行う。

そのことにより、大手通の事をより深く知ってもらいたいと考えている。

②ストーリーの募集

ホームページ上ではメールフォームを用意し、そこからどなたでもストーリーを投稿出来るようになっている。投稿されたストーリーを随時ホームページに記載したいと考えている。

謝 辞

最後に、お忙しい中、私たちの取組を全面的に応援して下さった「越時計店・店主」野本さん、「大手通商店街事務局」佐藤さん、アドバイザーをしていただいた「中越高校」高澤先生、ありがとうございました。

また、報告書の作成等、いろいろと協力して下さった「長岡大学地域活性化プログラム室」の山田さん、久保さん、本当にありがとうございました。

そして、この取組を実施するうえでご協力いただいたすべての方々にお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

